



## 災害公営住宅の入居

松田 由雄

### 敷金の全額免除はどうか

**問** 県住宅課の資料では、(災害公営住宅入居時の)敷金全額免除が石巻、名取、東松島、気仙沼。(敷金)1カ月分が山元、亘理。塩竈は検討中。減免しないのが12自治体。その中に、岩沼が入っているが、被災者支援とスムーズな生活再建を考えた場合に敷金を全額免除したらどうか伺う。

**市長** できるだけやれることはしつかりやっていかなければならないと基本的に思います。

他市町の状況を再確認しながら年度内には方向付けをしたいと思っています。

**問** 災害公営住宅は、通常の公営住宅と違い入居に所得制限がないなど特例もあるが、その辺を考えた場合はどのようにこれから検討するのか伺う。

**市長** 今回は震災ということでありますので、これまでの対応とは別な対応をせざるを得ないと思いますので、状況を見ながら考えます。

**問** 仮設住宅から災害公営住宅が民間賃貸住宅に移転するのは当然出てくるわけだが、所得によっては移転すら大変で、引越しの費用の一部として支援措置を設けてはどうか伺う。

**市長** 現時点におきましては東日本大震災復興基金交付金の新たな財源というものが見込めない中であって、市として独自財源によって支援措置を講ずるということは今の時点では難しいと思います。

**問** 被災者の方々の支援室もあるので、ぜひ相談に乗ってほしいと思うがどうか。

**健康福祉部長** 被災者生活支援室で十分相談等に応じさせていただきます。例えば引越しの際のボランティアの協力とか考えられまうので、遠慮なくご相談を頂ければと思います。

### ◎その他の一般質問

- ・千年希望の丘
- ・介護福祉に関して
- ・中学校の歴史、公民教科書に関して



## 津波対策の避難路

佐藤 一郎

**問** 臨空工業団地からの避難対策はどのように行うのか。

**総務部長** 東部地区を中心に津波避難の在り方懇談会を繰り返し開催し、岩沼臨空工業団地からの避難車両について課題点として出されています。臨空工業団地としても津波避難の在り方について協議を現在重ねています。具体的には工業団地全体を複数のブロックに分けて緊急時にブロックごとに南北の方向に分散し、できる限り矢野目集落を通らない避難ルートを検討していると伺っています。

### 避難路の延伸建設計画は

**問** 避難路の藤曾根線の延伸で交付金が認められたが建設計画はどのようになっているのか。

**建設部長** 藤曾根線は、県南浄化センターを起点とし藤曾根線を延長して、市道前條線に接続する新たな避難ルートとして計画しています。路線延長は約1330㍍、道路幅員11・5㍍です。

**問** 工業団地の利便性・安全性を考えれば、矢野目集落と工業団地

の間に、矢野目中央線の市道より五間堀を越え、藤曾根線の延伸へと結ぶ臨空工業団地からの避難路が必要だと思う。ぜひ新総合計画の中に位置付けるべきと思うがどうか。



矢野目中央線

**副市長** 新しい提案という形で受け止めました。内容については、避難路についても工業団地にしても非常に有効かなという部分があります。ただ今回の復興計画には全然入っていませんので、今後の課題としてできるだけ有効な形で(検討)したいと思っています。

◎その他の一般質問  
・土砂災害対策